



出発式で挨拶する

4月16日告示の町議会議員選挙は議員定数と同じ12名しか立候補者がなく、無投票当選となりました。皆さまからお寄せいただきました期待をバネに頑張る決意です。
告示日の16日は午前9時に出発式を行いました。
安曇野市議会議員の臼井泰彦さん、元松川村議会議員の宮崎弘さんも激励に駆けつけてくださり、元気をいただきました。候補の決意を述べました。
その後、選挙カーで会染地域を含む町内を回り、午後4時まで15ヶ所、議員として取り組む重点課題(※1)を訴えました。

町議選は無投票当選となりました。
今後もより良い池田町に「町政 チェック！」
しっかりと提言！」
で頑張ります。

※1【私のとりくむ重点課題】

1. 安倍政権の福祉削減政策から町民の「暮しと福祉」を守る
2. 高校生通学費助成制度の実施
3. 高齢者の雪かき支援・移動支援(デマンド交通)・配食サービスへの助成
4. 防災・減災の町づくり
5. 町民主役の町政に、「自治基本条例」の制定
6. 町政をチェックし、政策提言(条例制定)する議会

【選挙を終わって思うこと】 ◎無投票選挙について

町議会議員選挙が二期連続の無投票となり、町民の選択の機会がなくなつたことは大変残念なことだと思います。選挙は候補者の考えを述べ町民の皆さんに判断していただく重要な機会です。選挙がないことによる議員活動のマンネリ化が心配です。そうならないよう頑張りたいと思います。また、選挙にするために議員定数削減の声も聞かれますが、議員定数の削減は議員・議会の役割(町民の声を行政に届け、行政をチェックし、政策提言をする)を低下

させます。そのツケはチェック機能を低下させ、夕張市のように財政破綻した例もあります。議員定数削減はすべきでないと考えます。
今後は無投票にならないように立候補していただける方を増やす方を飯綱町議会の政策サポーター制度の取り組み(※2)なども参考に、議会として、検討・実践していかなければと思います。

※2 飯綱町議会の政策サポーター制度とは、議会でテーマ(「持続的に発展する町への政策提言」など)を設定し住民と議会とで共に議論し、政策をまとめ、町に提言する制度。同議会では年度を変えて3回行い、延べ43人の町民が参加した。このうち5名が議員となり、時間外保育料の一部無料化などの要求も実現した。



陸郷 夢農場の桜と菜の花 (2019. 4. 19)

4月13日、午後6時から町商工会青年部・町女性団体連絡協議会主催で池田町議会議員選挙立候補予定者が政策・抱負を語る「池田の未来を語る会」が公民館で開催されました。約110人の町民の皆さんにご参集いただき、9人の立候補予定者が各自の考えを述べました。語る会では主催者の用意した3つの設問に1人2分間で発表し、最後に各自のアピールを3分で行いました。私の意見発表の概要は次のとおりです。

《設問1》町の人口減少についての対策

- 国の政治を、「8時間働けば、普通に暮らせ、安心して結婚できる社会」に変えていくことがまず必要。
- 今後、町での遊休農地が増える。アルプスが美しい当町で、農業をやっていた方々を広く集め人口増を図る。そのために、農地の貸し出し・斡旋、技術指導などのサポートシステムを町で立ち上げる。
- JR駅の町駐輪場に屋根掛けし、高校生通学費助成事業を実現する。

《設問2》町の活性化・賑わいづくりの対策

- 大規模小売店舗法が2000年に廃止され、町なかの賑わいがなくなった。地方の産業振興を国に求める。
- クラフトパーク・ハーブセンター・まちなかの活性化について提言する。
- まちなか・町南部平地に親子で遊べる遊園地を作る。

《設問3》女性の活躍支援の対策

- 町議会議員の定数12人のうち30%4人は女性枠とし、残る8人は男性枠とする。自治会長も男女1年交代で行う。

《意見アピール》

- 町国保税の値上げが心配。国・県の国保財政に1兆円の公費を投入して値上げを抑える。
- ハーブセンターのハーブ園を訪れた人がハーブを楽しみ、ハーブがわかるハーブ園となるよう提案する。
- 「食育基本条例」など条例提案できる議会を目指す。
- 町財政が厳しいので、開校した北アルプス国際学院の運営費まで町が出さないよう求めていく。